

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Header information table including: 事務事業名 (予算編成・予算管理事務), 所属部局 (総合政策部), 所属課室 (財政課), 所属担当 (財政担当), 基本政策 (情報と連携の都市づくり), 政策 (行財政改革の推進), 施策 (財政の健全化の推進), 事業期間 (単年度のみ), 事業の内容 (期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載), 事業費の主な内訳 (24年度 決算見込).

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Table with 4 rows: ① 活動 (24年度活動実績, 25年度活動予定), ② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等, ③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか), ④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか).

Table with 4 rows: ⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない, ⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない, ⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない, ⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない.

(2) 事業費・指標の推移

Main data table with columns: 年, 事業費内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標. Rows show data from 23年度 to 28年度 and final target.

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table with 3 rows: ① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?, ② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?, ③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?

(4) 改革改善の取り組み状況

Table with 3 rows: ① 改革改善の取り組み実施は?, ② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由), ③ H 24年度に実施した改革改善の内容.

事務事業名	予算編成・予算管理事務	所属部	総合政策部	所属課	財政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 適正な予算編成、予算管理を行うことにより、「財政健全化の推進」「行政改革の推進」につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 継続的な事務事業(行政サービス)の実施にあたり、財政計画に基づき市財政課が予算編成を行う必要がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 真に必要な事務事業(行政サービス)を継続して実施するにあたり、財政計画に基づき予算編成、管理を行うことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事務事業評価を予算に反映させ、効率的な予算執行を行うため、予算編成を22年度から施策別予算枠配分方式としたが、このシステムをより良いものとするため、さらに研究検討が必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 予算編成を行わなければ、事務事業(行政サービス)に適切な予算配分ができない。 予算編成を行わなければ、事務事業(行政サービス)に適切な予算配分ができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 健全財政を維持するため、市全体の経費を削減する必要がある。本事務事業は物件費だけで削減余地は少ないが、できる限りの削減は必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 財務会計システムを利用し、業務時間の削減を図ってきたが、常に業務の見直しを行い削減に努めることは必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者である市民全体に対し公平・公正となるように、適切な予算編成を行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予算編成にあたり、昨年度から行政評価システムを取り入れた「施策別予算枠配分」の方式に取組み、一定の成果を得ているが、よりスムーズな予算編成業務となるよう、これまで以上に関係課と連携して取り組む必要がある。 また、策定される財政計画に沿った、適正な予算編成と予算管理を行うこと。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 予算編成を施策別予算枠配分方式としたが、成果向上(健全財政維持)のため、より良いシステム構築に向けた取り組みを行う。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① ・政策推進課、行政システム課、財政課が連携を密にし、総合計画実施計画、事務事業マネジメントシート、財政計画と予算(複数年度)を常に連動させる。 ・普通建設事業等の後年度予算額が大きい事業については、継続事業であっても事務事業マネジメントシートのヒアリングを行い、毎年度事業評価を行う。 ・新規事業については、施策内での合意形成後に政策推進課に提出。二次評価会議を経て総合計画実施計画への登載、そして概算要求となる行政評価システムの確立をめざす。																						